

2-(6) 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

学部・研究科等	教育課程の編成方針／学位授与の方針
芸術学部	<p>【教育目的】</p> <p>人と自然を思いやる想像力と、社会を変革する創造力を身につけ、自らの意思で未来を切り拓くことができる人材の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本質を見ようとする姿勢、純粋な目・・・「想像力」Imagination 2. 想いを形にできる力・・・「創造力」Creativity 3. 問題提起と解決への強い意志・・・「意志」Spirit 4. 社会的・職業的自立のための能力・態度・・・「社会性」Sociality <p>【学位授与の方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い知識、多様な視点、豊かな感性を身につけ、自然や社会に内在する様々な美や課題を発見し説明できる・・・「知識・理解」「思考力」「課題発見力」 2. 発想・直感から練り上げた構想を、具体的に表現し伝えることができる・・・「発想・構想力」「表現力」 3. 自立した「個」の確立を目指し、その強い意志と芸術の力によって、社会に向けて新鮮で本質的な価値観を提起できる・・・「倫理性」「実行力」 4. 職業観・勤労観を培い、社会人としての基礎的資質能力を形成し、積極的に社会参加できる・・・「基礎学力」「自己管理能力」「人間関係形成力」 <p><u>文化財保存修復学科</u></p> <p><u>歴史遺産学科</u></p> <p><u>美術科 総合美術コース</u></p> <p><u>美術科 日本画コース</u></p> <p><u>美術科 洋画コース</u></p> <p><u>美術科 版画コース</u></p> <p><u>美術科 彫刻コース</u></p> <p><u>美術科 工芸コース</u></p> <p><u>美術科 テキスタイルコース</u></p> <p><u>文芸学科</u></p>

学部・研究科等	教育課程の編成方針／学位授与の方針
デザイン工学部	<p>【教育目的】</p> <p>人と自然を思いやる想像力と、社会を変革する創造力を身につけ、自らの意思で未来を切り拓くことができる人材の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本質を見ようとする姿勢、純粋な目・・・「想像力」 Imagination 2. 想いを形にできる力・・・「創造力」 Creativity 3. 問題提起と解決への強い意志・・・「意志」 Spirit 4. 社会的・職業的自立のための能力・態度・・・「社会性」 Sociality <p>【学位授与の方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い知識、多様な視点、豊かな感性を身につけ、自然や社会に内在する様々な美や課題を発見し説明できる・・・「知識・理解」「思考力」「課題発見力」 2. 発想・直感から練り上げた構想を、具体的に表現し伝えることができる・・・「発想・構想力」「表現力」 3. 自立した「個」の確立を目指し、その強い意志と芸術の力によって、社会に向けて新鮮で本質的な価値観を提起できる・・・「倫理性」「実行力」 4. 職業観・勤労観を培い、社会人としての基礎的資質能力を形成し、積極的に社会参加できる・・・「基礎学力」「自己管理能力」「人間関係形成力」 <p><u>プロダクトデザイン学科</u></p> <p><u>建築・環境デザイン学科</u></p> <p><u>グラフィックデザイン学科</u></p> <p><u>映像学科</u></p> <p><u>企画構想学科</u></p> <p><u>コミュニティデザイン学科</u></p>

学部・研究科等	教育課程の編成方針／学位授与の方針
芸術工学研究科	<p>【育成する人材像】</p> <p>芸術工学専攻</p> <p>学究的態度、批評的態度、および利他的態度を備えた、創造的なるく人間のための研究者)</p> <p>芸術文化専攻</p> <p>人間の「精神」の充足に寄与する芸術の存在意義を探究し、文化の担い手たらんと研究・創作に取り組み続けられる人材</p> <p>デザイン工学専攻</p> <p>現代社会が直面する諸問題の解決を図り、真に健やかな生活の実現をめざす、「用」のデザインを志向し、実践し続けられる人材</p> <p>【学位授与の方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 芸術・デザインの歴史を学ぶ意味を理解し、その継承と進展を目的として、真摯な学究的態度で専門研究に取り組むことができる・・・「歴史理解に基づく専門研究の追求」 2. 人間社会と芸術・デザインの間を、論理的に検証・構築し得る、批評的態度と言語を体得している・・・「論理的思考と批評眼の習得」 3. グローバルな視野と同時に、足元の地域や自然環境への愛情を持ち、利他的態度で社会に貢献できる・・・「東日本復興をはじめとする、地域課題を解決するための研究をするという態度の醸成」 <p><u>博士後期課程 芸術工学専攻</u> #</p> <p><u>修士課程 芸術文化専攻</u></p> <p><u>修士課程 デザイン工学専攻</u></p>

[履修モデル、各種アンケート結果の詳細については、「東北芸術工科大学学修支援サイト ネットパス」をご参照ください。](#)

※ アクセス方法

「ログイン画面へ」のボタンでログイン画面に戻り、「ゲストユーザー」をクリックしてMenu 画面にお入りください。そこから「教学課(学年暦・ガイドブック)」内の「2017学生生活・学修ガイドブック」にアクセスしてください。